

容量市場への参加について

1 容量市場の概要

(1) 経緯

今年度、電力自由化など、国において進められている電力システム改革の一環として、「容量市場」が創設。

(2) 目的

中長期的に安定した電力供給のため、

- ① あらかじめ必要な供給力を確実に確保すること。
- ② 電気の市場価格の安定化を図ること。

(3) 仕組

- ・国内全体の電力需給調整を行っている「電力広域的運営推進機関」が、発電事業者（企業局など）から供給力を一括して買い取り、小売電気事業者（四国電力など）が、需要に応じて、その費用を負担する制度。
- ・市場では、電力量(kWh)ではなく、4年後の供給力(kW)を取引し、発電事業者は、4年後に対価を得る仕組。

(4) 参加対象電源

FIT 電源以外の全ての電源。

（徳島県企業局については、坂州、日野谷、川口、勝浦の 4 水力発電所が対象。）

2 今後の対応方針

- ・企業局は、毎年実施される容量市場に参加。
- ・今年度の容量市場の結果は、8 月末頃に確定する予定。